

.....様

説明日.....年.....月.....日

担当薬剤師.....

★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
nabPTX+GEM28	28日間	外科・内科	膵がん	コース目	

★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日					
					1	2~7	8	9~14	15	16~28
1	点滴 静注	グラニセトロン (吐き気止め)	3mg/100mL 30分	3mg/100mL	●		●		●	
2	点滴 静注	アブラキサン 生理食塩液100mL	125mg/m ² 30分	mg	●		●		●	
3	点滴 静注	ゲムシタピン 生理食塩液100mL	1000mg/m ² 30分	mg	●		●		●	

★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載 FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

nabPTX＋GEM 28の副作用について

★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16日目以降
白血球減少																
貧血																
血小板減少																
悪心・嘔吐・食欲不振																
末梢神経障害																
脱毛																
倦怠感																
関節痛																
発熱																
皮疹																
血管痛																
過敏症																

★起こりやすい副作用と対策

〈血液検査からわかる副作用〉

● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

〈ご自分でわかる副作用〉

● 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

● 末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

● 脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分(まゆ毛、ひげ、体毛など)でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

● 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

● 関節痛

一時的に肩や背中、腕や腰または関節などに筋肉痛のような症状がでることがあり、場合によっては、痛み止めを使います。

⇒痛いところを温めたり、マッサージをしてみましょう。

● 発熱

抗がん剤点滴中～点滴後、一時的に熱が出るがあります。点滴した日の翌日までに出ることが多いです。

⇒必要に応じて解熱剤を使うことがあります。主治医の指示に従って服用して下さい。

● 皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強くなった場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

● 血管痛

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずにスタッフに声をかけて下さい。

● 過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)

★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」(過敏症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050